

平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年1月24日

上場会社名 ゲンダイエージェンシー株式会社
 コード番号 2411 URL <http://www.gendai-a.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役CEO
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO
 四半期報告書提出予定日 平成26年1月31日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

(氏名) 山本 正卓
 (氏名) 高 秀一

TEL 03-5308-9888

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	13,082	△3.2	1,355	△1.3	1,380	0.2	853	△0.7
25年3月期第3四半期	13,509	8.0	1,373	15.7	1,377	15.6	860	27.9

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 858百万円 (△0.3%) 25年3月期第3四半期 861百万円 (45.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	51.44	—
25年3月期第3四半期	51.41	—

(注) 当社は、平成25年4月1日付で普通株式1株につき200株の株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第3四半期	7,970	5,417	67.7	325.12
25年3月期	7,891	5,023	63.4	301.28

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 5,396百万円 25年3月期 5,001百万円

(注) 当社は、平成25年4月1日付で普通株式1株につき200株の株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり純資産」を算定しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	2,700.00	—	2,800.00	5,500.00
26年3月期	—	14.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	14.00	28.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 当社は、平成25年4月1日付で普通株式1株につき200株の株式分割を行っております。

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	
通期	16,850	△2.8	1,670	1.4	1,670	0.7	1,010	△3.0	60.84

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期3Q	16,600,000 株	25年3月期	18,600,000 株
26年3月期3Q	— 株	25年3月期	2,000,000 株
26年3月期3Q	16,600,000 株	25年3月期3Q	16,731,000 株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 1「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法について)

四半期決算説明資料はTDnetで同日開示しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	1
(1) 経営成績に関する説明	1
(2) 財政状態に関する説明	1
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	1
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	2
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	2
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	2
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	2
3. 四半期連結財務諸表	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	4
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(セグメント情報等)	6
4. 補足情報	7
(1) 生産実績	7
(2) 受注状況	7
(3) 販売実績	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における日本経済は、政府の経済政策や金融緩和策により円安・株高が進み、景気回復の兆しがみられるものの、来年度からの消費税増税による個人消費低迷の懸念等、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社グループの主要顧客であるパチンコホール業界においては、個人消費低迷の影響を受け、依然として厳しい経営環境が続いておりますが、大手法人を中心とした積極的な新規出店も見られる等、明るい兆しもありました。

こうした環境下で、当社グループでは、主力の広告事業において販売シェアを拡大していくため、取引顧客店舗数の更なる増加に向けて取り組んでまいりました。

しかしながら、イベント広告規制強化の影響は大きく、広告需要の消失を完全に穴埋めするまでには至りませんでした。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は13,082百万円（前年同期比△3.2%減）、営業利益は1,355百万円（同△1.3%減）、経常利益は1,380百万円（同0.2%増）、四半期純利益は853百万円（同△0.7%減）となりました。

なお、セグメント別の状況は以下のとおりであります。

(広告事業)

当第3四半期連結累計期間のパチンコホール広告市場は、一昨年7月20日付警察庁丁保発第114号「ぱちんこ営業における広告、宣伝等の適正化の徹底について（通知）」を受け、引き続き需要は低迷する状況にありました。

こうした環境下において、当社は大型案件獲得に向けた広告提案活動を強化し、パチンコホールの新規出店告知案件や大規模改装案件の受注獲得を推進するとともに、一部遊技機メーカーからの受注を新たに獲得してまいりました。

これら一連の取り組みにより、顧客基盤の拡大を図ることができたものの、広告規制強化に伴う広告需要の減少を完全に埋め合わせるまでには至らなかったことから、広告事業の売上高は12,931百万円（前年同期比△3.5%減）となりました。また、売上高減少に伴うマージン減少の影響により、セグメント利益は1,615百万円（同△1.7%減）となりました。

(不動産事業)

当第3四半期連結累計期間においては、連結子会社の(株)ランドサポート（以下、L S社）において、既契約で継続中の2件の賃貸案件のほか、5件の売買・賃貸仲介案件（41百万円）を成約いたしました。

その結果、不動産事業の売上高は151百万円（前年同期比38.0%増）、セグメント利益は53百万円（同25.1%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第3四半期末における総資産は7,970百万円となり、前連結会計年度末比78百万円の増加となりました。

これは、主に売上債権591百万円の増加および投資有価証券が116百万円増加した一方で、納税、配当等により現金及び預金が△654百万円減少したこと等によるものであります。

(負債)

負債合計は2,553百万円となり、前連結会計年度末比△314百万円の減少となりました。これは、仕入債務が315百万円増加する一方で、長期借入金（1年内返済予定を含む）の返済による減少△260百万円および未払法人税等が△346百万円減少したこと等によるものであります。

(純資産)

純資産合計は5,417百万円となり、前連結会計年度末比393百万円の増加となりました。これは、四半期純利益853百万円を計上する一方で、利益配当△464百万円があったこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間における連結業績は、概ね当初計画どおり推移していることから、通期の業績予想については前回発表予想を修正しておりません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,012	3,357
受取手形及び売掛金	2,094	2,685
繰延税金資産	49	20
その他	84	140
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	6,240	6,204
固定資産		
有形固定資産		
土地	767	767
その他(純額)	94	98
有形固定資産合計	861	865
無形固定資産	69	37
投資その他の資産	※ 720	※ 862
固定資産合計	1,651	1,766
資産合計	7,891	7,970
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,146	1,461
短期借入金	100	100
1年内返済予定の長期借入金	368	234
未払法人税等	558	212
その他	239	218
流動負債合計	2,413	2,226
固定負債		
長期借入金	426	300
資産除去債務	18	16
その他	10	10
固定負債合計	454	326
負債合計	2,868	2,553
純資産の部		
株主資本		
資本金	751	751
資本剰余金	1,063	1,063
利益剰余金	3,186	3,575
株主資本合計	5,001	5,390
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△0	6
その他の包括利益累計額合計	△0	6
少数株主持分	22	20
純資産合計	5,023	5,417
負債純資産合計	7,891	7,970

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)
売上高	13,509	13,082
売上原価	10,287	9,988
売上総利益	3,222	3,094
販売費及び一般管理費	1,848	1,738
営業利益	1,373	1,355
営業外収益		
受取利息	2	2
受取配当金	0	0
為替差益	2	24
還付加算金	4	0
その他	4	3
営業外収益合計	14	30
営業外費用		
支払利息	8	5
その他	1	0
営業外費用合計	10	6
経常利益	1,377	1,380
特別利益		
固定資産売却益	—	1
投資有価証券売却益	6	—
特別利益合計	6	1
特別損失		
投資有価証券売却損	10	—
特別損失合計	10	—
税金等調整前四半期純利益	1,372	1,381
法人税、住民税及び事業税	515	499
法人税等調整額	△3	30
法人税等合計	512	529
少数株主損益調整前四半期純利益	860	851
少数株主損失(△)	—	△2
四半期純利益	860	853

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	860	851
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1	6
その他の包括利益合計	1	6
四半期包括利益	861	858
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	861	860
少数株主に係る四半期包括利益	—	△2

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

セグメント情報

- I 前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	広告事業	不動産事業	計		
売上高					
(1)外部顧客への売上高	13,400	109	13,509	—	13,509
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	13,400	109	13,509	—	13,509
セグメント利益	1,643	43	1,686	△312	1,373

(注) 1. セグメント利益の調整額△312百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△312百万円でありま
す。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

- II 当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	広告事業	不動産事業	計		
売上高					
(1)外部顧客への売上高	12,931	151	13,082	—	13,082
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	12,931	151	13,082	—	13,082
セグメント利益	1,615	53	1,669	△313	1,355

(注) 1. セグメント利益の調整額△313百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△313百万円でありま
す。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. 補足情報

(1) 生産実績

該当事項はありません。

(2) 受注状況

当社グループの商品・サービスは、受注から納品までの期間がきわめて短いため、記載を省略しております。

(3) 販売実績

当第3四半期連結累計期間の販売実績を報告セグメント別に示すと、次のとおりであります。

報告セグメント	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日) (百万円)	前年同期比 (%)
広告事業		
折込広告	7,999	93.6
販促物	2,063	97.4
媒体	937	110.8
その他	1,932	102.3
広告事業計	12,931	96.5
不動産事業	151	138.0
合計	13,082	96.8

(注) 上記の金額には消費税等は含まれておりません。